

新潟市公園施設長寿命化計画の 概要について



新潟市土木部公園水辺課

新潟市の公園の概要

公園緑地のストック

- 白山公園、寺尾中央公園、よこごし公園など多くの市民の皆様にご利用されている地区公園や都市緑地から、身近な公園としての街区公園などあります。
- 平成27年度現在で、県立公園も含めると本市の公園数は1,609箇所、約958haの様々な公園を設置しています。

公園種別	住区基幹公園			都市基幹公園		特殊公園			広域公園	都市緑地	緑道	都市公園合計 小計	その他 公園	公園
	街区公園	近隣公園	地区公園	総合公園	運動公園	交通公園	歴史公園	動植物 公園						合計
箇所数	1,271	30	9	9(1)	4	1	1	2	1(1)	48(2)	8	1,384(4)	225	1,609(4)
面積(ha)	122	47	45	312(20)	45	2	1	3	87(87)	146(17)	2	812(124)	146	958(124)

※()書きは県立公園数

平成27年度末時点



寺尾中央公園（西区）

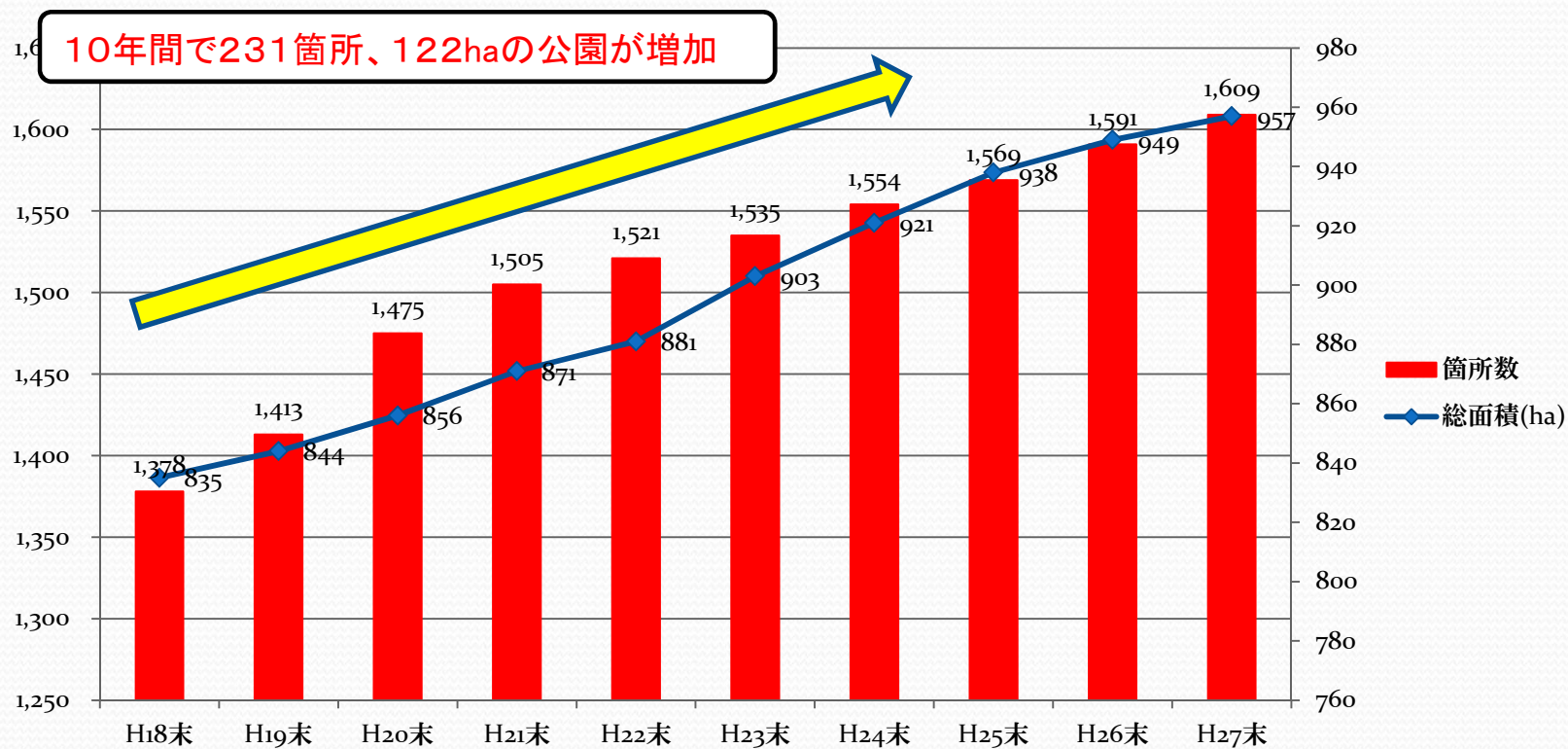


よこごし公園（江南区）

新潟市の公園の概要

公園緑地の推移

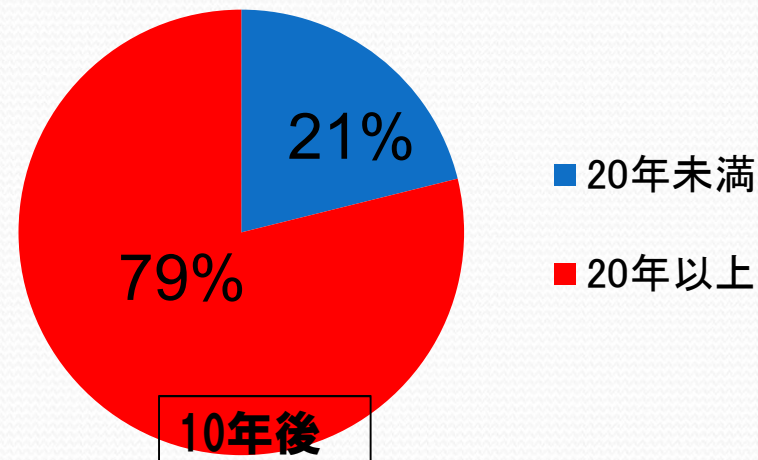
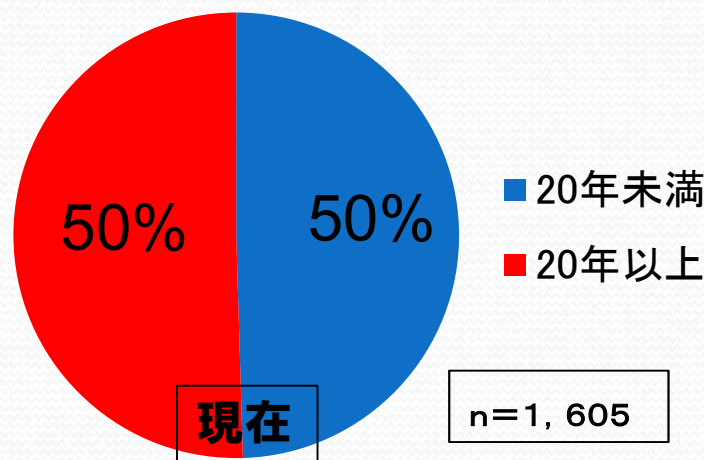
- 合併建設計画の着実な推進、区画整理事業や開発行為などによる新設公園の整備が進み、直近10年間で231箇所、122haの公園が増加しています。
- なお、本市は政令市20市中、一人あたりの都市公園面積で6番目となっています。



新潟市の公園の概要

公園の経過年数

○供用開始から20年以上経過する公園の割合は、現在(H27年度末時点)で50%ですが、10年後(H37年度末)には、約80%となる見込みです。



白山公園（中央区）
【明治6年供用】



亀田公園（江南区）
【昭和60年供用】

新潟市の公園の概要

これまでの維持管理の現状

○本市の公園の維持管理は、公園パトロール実施要領に基づき、定期的なパトロールを実施し、不具合を発見した場合、その都度施設の補修をしていました。また、専門技術者が実施する施設の健全度調査などで改善が必要と判断された施設を更新しています。このため、限られた予算の範囲内で補修などを実施することになることから、予算の不足が生じた場合などは、緊急的に施設の使用を禁止するなどの措置をとっています。

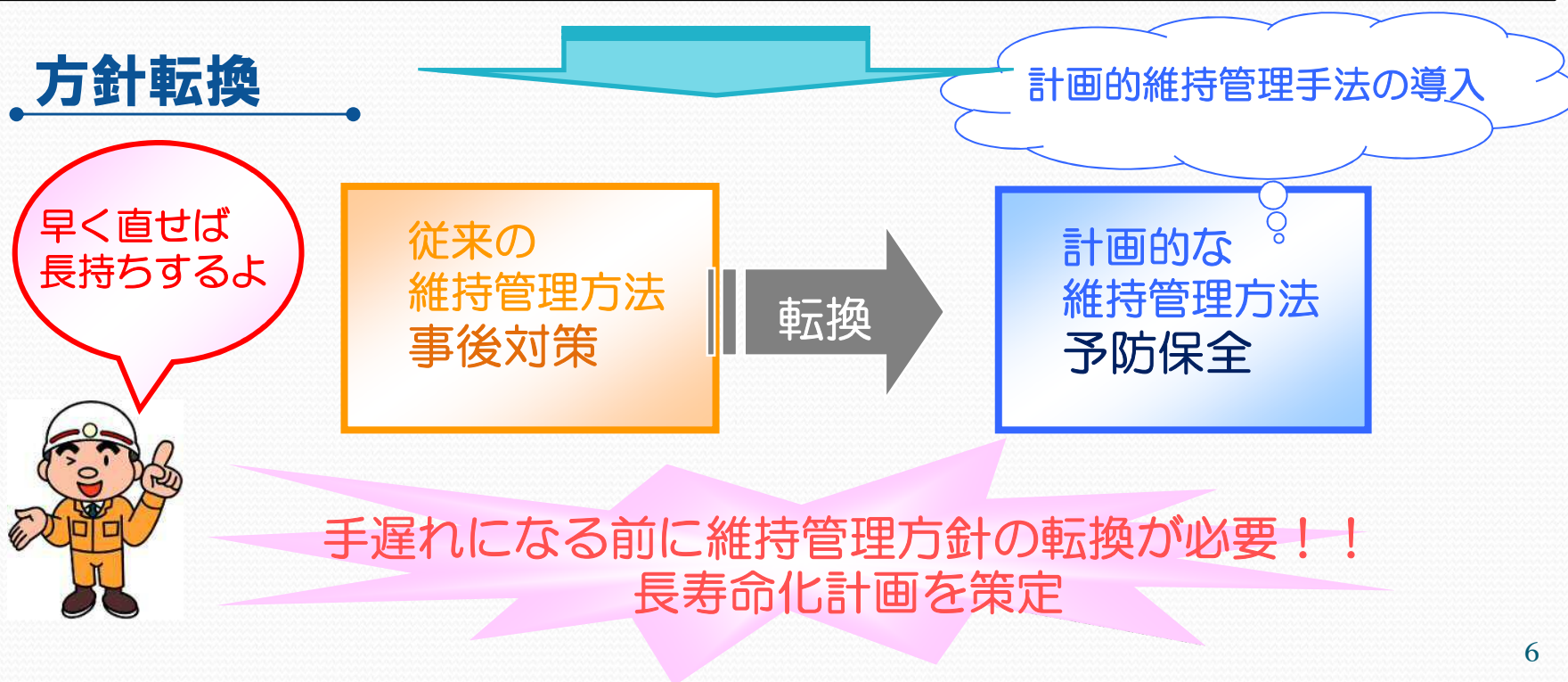


課題及び解決のための維持管理方針の転換

課題

- 今後、老朽化する施設が急速に増えていくため、計画的な施設更新などに取り組む必要があります。
- 財政面では、人口減少に伴い市税の大幅な増収が見込めないなど、引き続き、厳しい財政状況が続く見通しのため限られた予算で計画的に維持管理を行う必要があります。

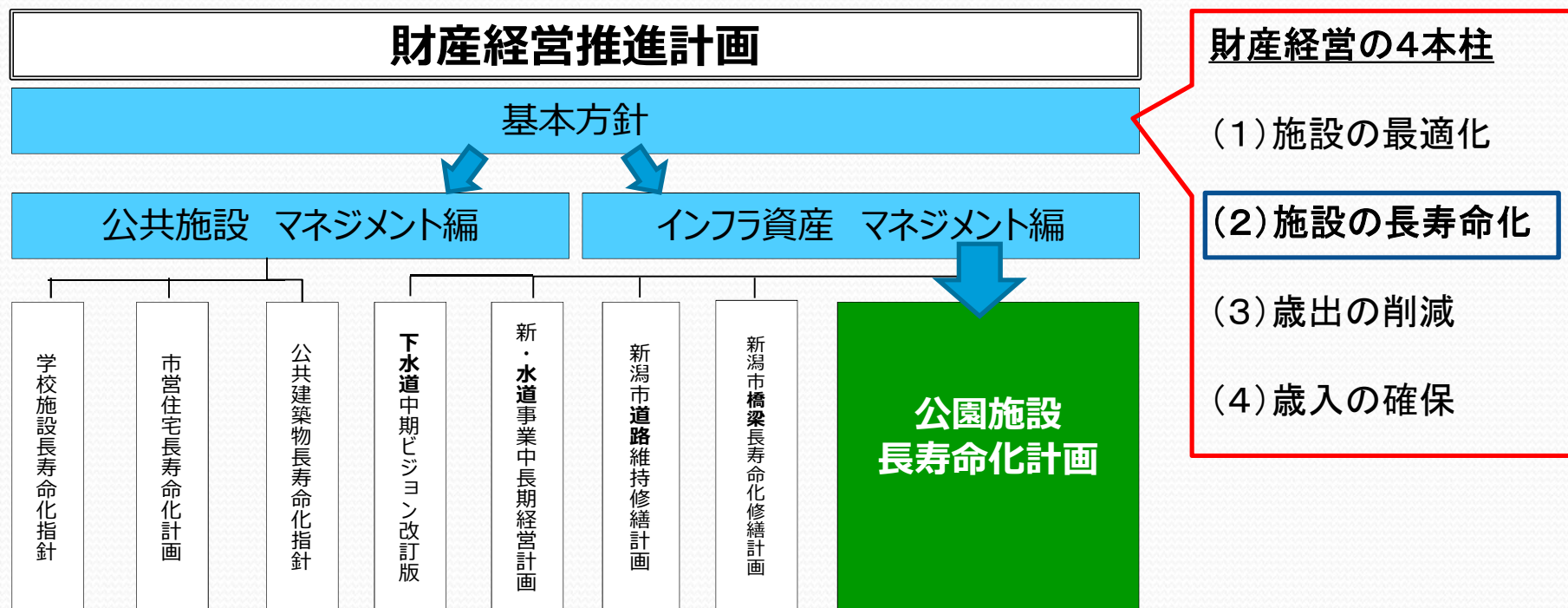
方針転換



財産経営推進計画について

概要

- 人口減少、厳しい財政状況、膨大な施設更新費用などの課題に対応し、適正な財産経営を推進するため、インフラ資産では「メンテナンスサイクルに基づく計画的・効率的な維持管理・更新」及び「既存施設の長寿命化」を基本方針として効率的な管理・利活用を図り、持続可能なまちづくりを進めます。
- また、本計画には、財産経営の4本柱の1つとして「施設の長寿命化」を位置付けています。



新潟市公園施設長寿命化計画の概要

1 背景

- 前述のように高度経済成長期に集中投資した施設が急速に老朽化が進んでいるとともに、本市では合併建設計画などで整備した大規模公園などストック(公園数)についても増加している状況です。
- 一方国は、平成21年度に公園施設長寿命化計画策定調査費の交付金制度を創設し、平成24年4月には「公園施設長寿命化策定指針(案)」を策定、平成26年度からは「公園施設長寿命化計画」に基づき、適切に維持管理されている公園施設の更新を支援する交付金制度を創設しています。



阿賀野川ふれあい公園(北区)

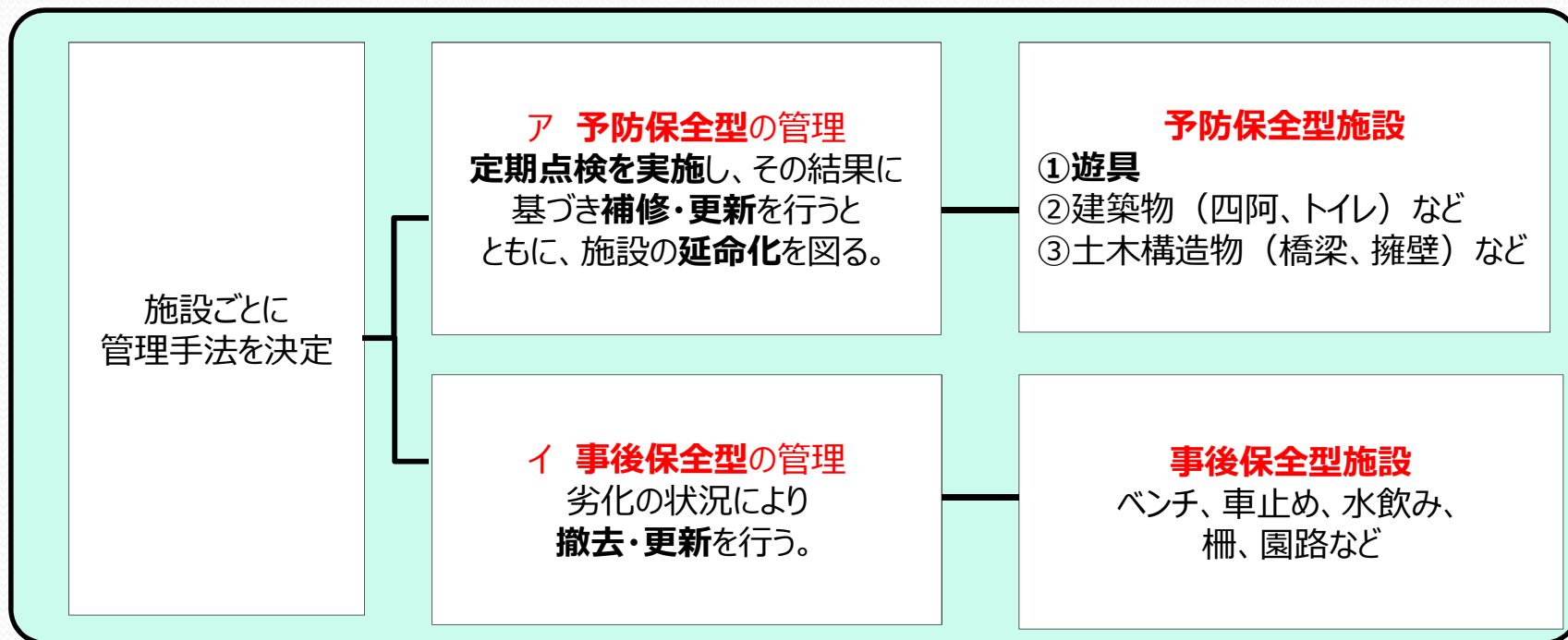
2 目的

公園を誰もが安心・安全に利用できるよう、更新時期を迎える公園施設の安全確保と機能保全を図るとともに維持管理方針を明確にし、施設ごとの管理方針や長寿命化対策の内容などを示し、維持管理費の縮減や予算の平準化を図ります。

新潟市公園施設長寿命化計画の概要

3 管理手法について

子どもをはじめとした公園利用者の安全・安心な利用を最優先に遊具のほか、将来世代への負担軽減を図るため、更新費用が高額となる建築物・土木構造物については、**予防保全型の管理**（定期点検を実施し、その結果に基づき補修・更新を行う）とし、**その他の公園施設**は、**事後保全型の管理**（劣化の状況により、撤去・更新を行う）に位置付け、2つの区分とで管理を行っていきます。



新潟市公園施設長寿命化計画の概要

4 これまでの取り組み経過

年度	取組内容	計画策定状況
平成22年度	専門技術者等により <u>遊具・建築物・土木構造物</u> を対象に健全度調査を実施 (一部、職員等による調査も含まれます。)	
平成23年度		
平成24年度		
平成25年度		
平成26年度	調査結果を基に公園施設長寿命化計画(二次計画)を策定作業を実施	<u>公園施設長寿命化計画【一次計画】H26～27年度</u> (特に緊急の改築を 必要な施設のみを対象)
平成27年度		
平成28年度～	その他施設の調査	<u>公園施設長寿命化計画【二次計画】H28～37年度</u> (対象施設が設置してある 全市の公園が対象)

新潟市公園施設長寿命化計画の概要

5 対象施設

対象公園		
	一次計画	二次計画
	91公園	1,087公園

対象施設							
		一次計画	二次計画				
			遊具	建築物	土木構造物	その他	合計
園路広場	橋梁など				63施設	15施設	78施設
修景施設	噴水など					19施設	19施設
休養施設	四阿など	1施設		470施設			470施設
遊戯施設	ブランコなど	107施設	3,240施設				3,240施設
運動施設	バスケットゴールなど					13施設	13施設
教養施設	野外演劇場など			8施設			8施設
便益施設	便所など			316施設		1施設	317施設
管理施設	管理事務所など			29施設	1施設	10施設	40施設
その他施設	展望台など					8施設	8施設
合計		108施設	3,240施設	823施設	64施設	66施設	4,193施設

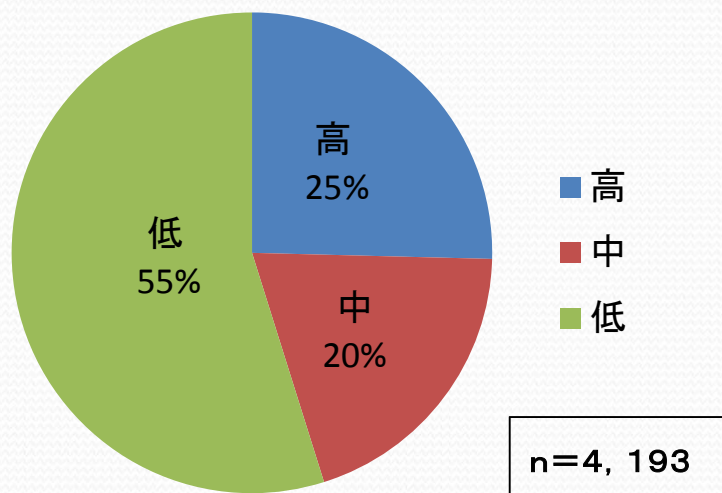
一次計画は、特に緊急の更新を要する遊具など108施設を対象とした更新計画であり、計画通り平成27年度末に完了しました。



新潟市公園施設長寿命化計画の概要

6 調査結果からみる施設の現状

- 平成22年度から専門技術者等により実施した健全度調査で得られた情報をもとに、施設ごとの劣化や損傷の状況などから、緊急度として総合的な判定を行いました。
- 緊急度は、早急に施設の修繕や更新が必要なものから、『高』・『中』・『低』としての評価であり、緊急性が高い順番に、『高』は25%、『中』は20%、『低』は55%となっています。



緊急度	対応
高	早急に修繕(更新)等が必要なもの。
中	修繕(更新)等が必要なもの。
低	修繕(更新)等が必要がないもの。低いもの。

● 予防保全型施設は、緊急度判定が「高」のものから、順次、補修や更新を実施します。

注)調査後に既に更新・補修・撤去など対策を講じた施設も一部含まれます。

更新事例

遊具

河渡中央公園(東区有楽)

一次計画に基づき、遊具の更新

- 事業期間:平成26年度
- 事業費 : 約650千円

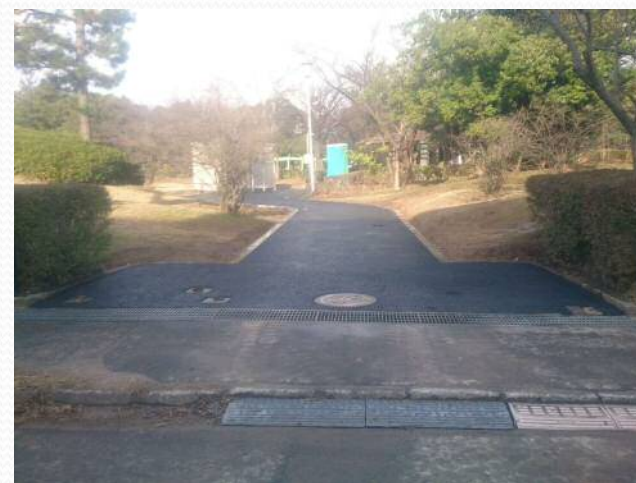


更新事例

トイレ

東山公園(東区東明)
トイレのバリアフリー化、園路の更新

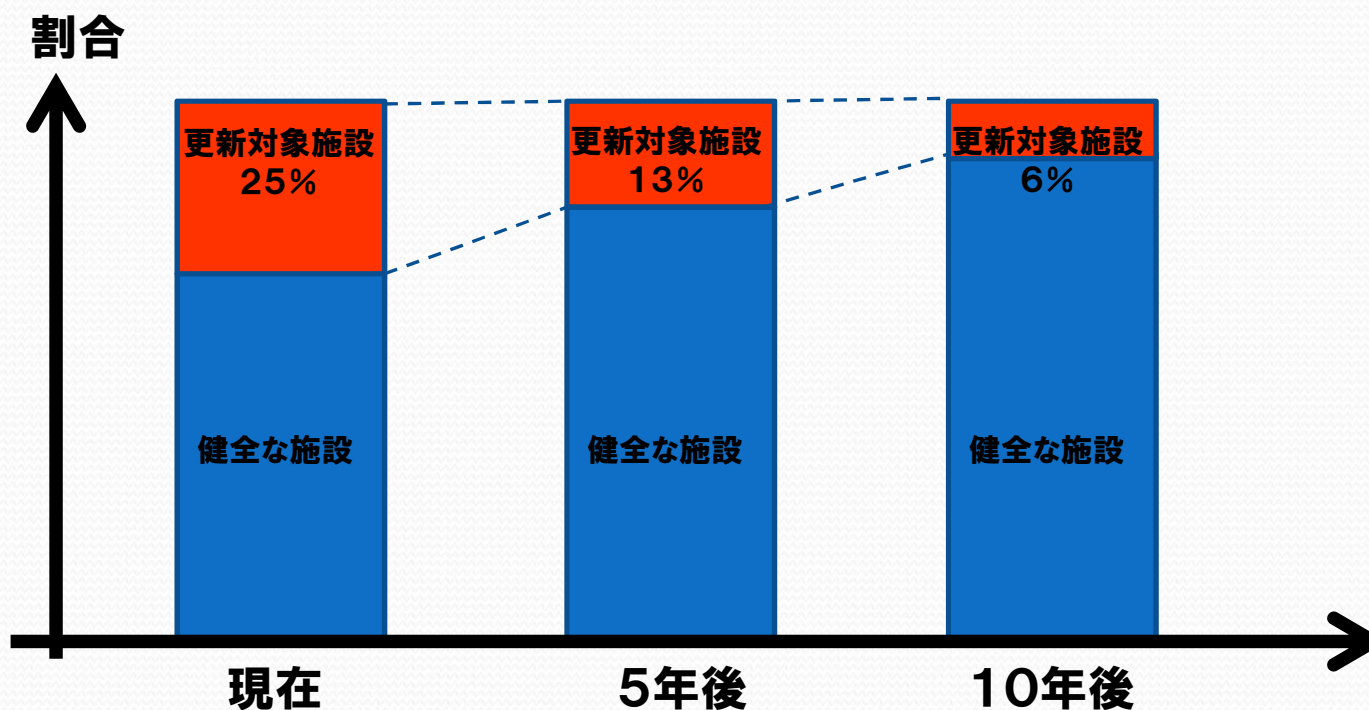
- 事業期間:平成25年度
- 事業費 : 約9,000千円



効果

公園施設の安全確保と機能保全

- 計画的な公園施設の補修・更新を行うことにより、公園施設を起因とした事故を未然に防ぐことにつながり、利用者の安全確保を図ることができます。また、安全で快適な利用を確保するという公園が持つ本来の機能を維持することができます。

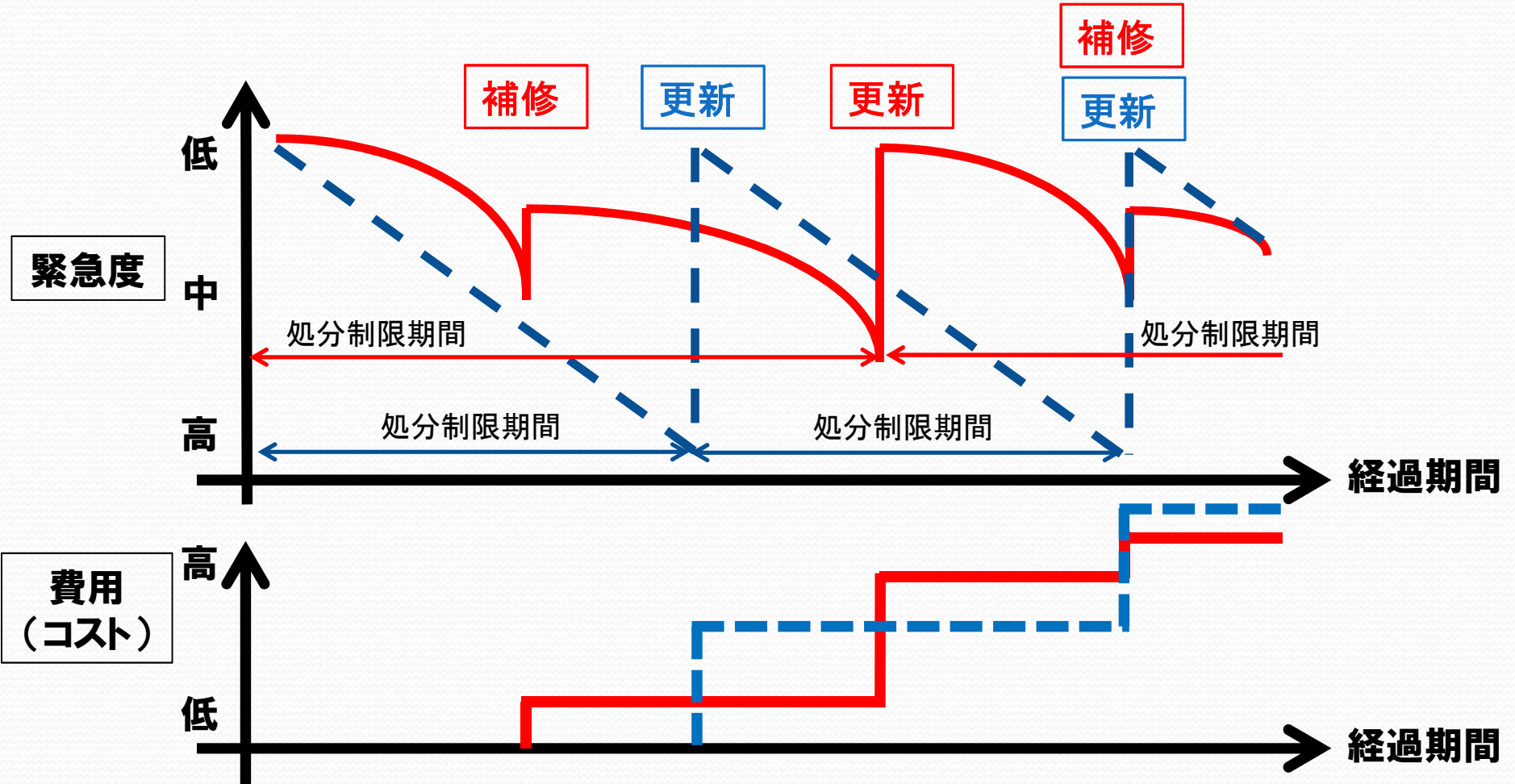


※健全と判定される施設の予測割合

効果

維持管理費の縮減と予算の平準化①

- 長寿命化対策をした場合(予防保全型管理)
- 長寿命化対策をしない場合(事後保全型管理)

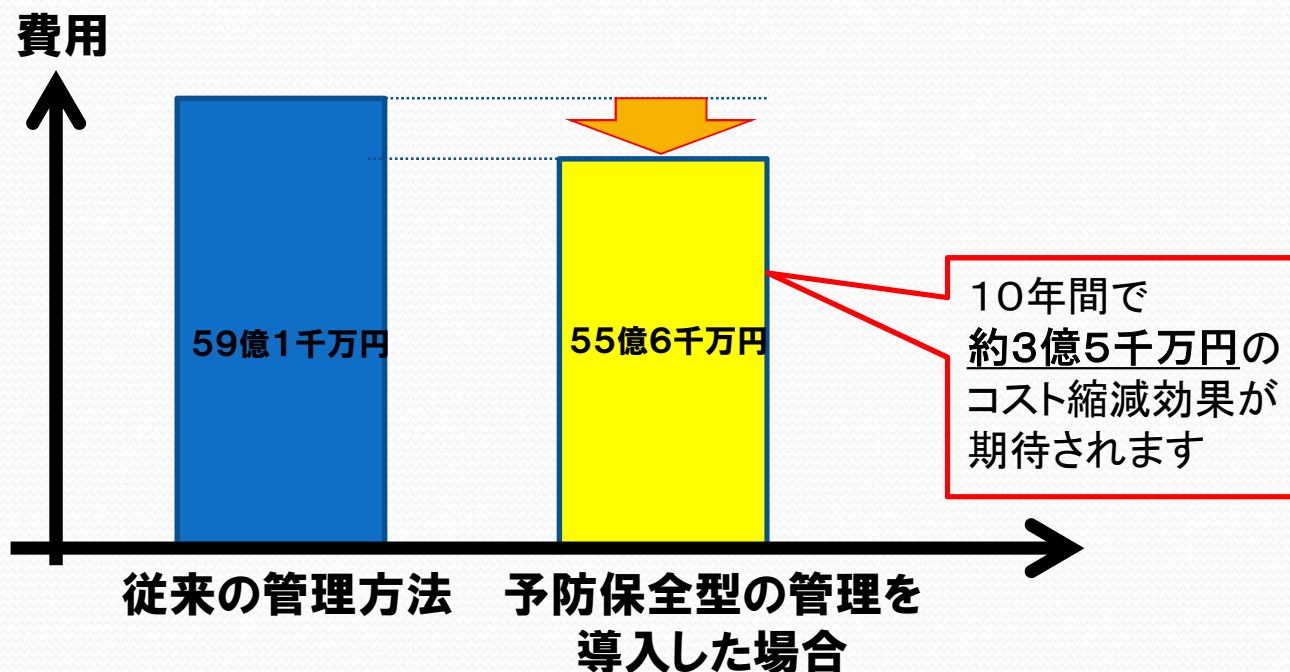


○ 計画的に施設の補修を行うことで、処分制限期間が延び、トータルコストについても縮減を図ることができます。

効果

維持管理費の縮減と予算の平準化②

- 予防保全型の管理を導入することで、これまでの行ってきた事後保全型の管理に比べて、維持管理費の縮減と事業費の平準化が図られます。



※10年間のライフサイクルコスト縮減額の想定額

今後のスケジュール

実施にあたって

- 地元自治会や愛護会などのご意見をお聞きしながら、施設の更新等を行います。
- 日頃実施している、施設の公園パトロールを丁寧に行い、安全で安心して利用できる公園環境に努めます。

今後の予定

- 2ha以上の都市公園については、遊具・建築物・土木構造物以外のその他施設(フェンス・舗装・ベンチ・照明施設等)についても現況調査等を行い、計画的な施設管理を行っていきます。

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	備考
公園施設長寿命化計画	2次計画			★見直し予定 ★予防+事後保全型長寿命化計画を策定			3次計画				
	予備調査等実施										
計画的な補修・更新	→										
公園パトロール	→										